

京都SDGsパートナー更新登録証



一般財団法人京都市都市整備公社は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

自然と共生する豊かで活力のある社会を未来へ継承できるよう、以下に取り組みます。

- ①安心・安全・快適な住みよいまちづくり ②駐車対策推進によるまちの価値向上
③交通安全思想の普及・啓発 ④CO₂削減をはじめとした環境保全及び都市緑化
⑤観光振興及び地域の活性化

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】廃校等を活用したお化け屋敷を開催し、地域の賑わいの創出に努めています。また、交通安全思想の普及、啓発を目的に交通安全フェスタを開催し、盲導犬講習会や交通安全教室等を実施しています。駐車場事業では、未就学児・妊産婦・高齢者・障害者等社会的弱者の利用を優先する梅小路公園おもいやり駐車場を運営しています。

【社会】企業等の経営にあたって環境への負荷を管理・低減する規格であるKES環境マネジメントシステム認証を取得し、京都府や京都市が進めている環境施策に協力しております。一例として「京都市緑の基本計画」の一環である御池通におけるスポンサー花壇の設置に協賛しています。

【環境】「駐車場の緑化」美観及びヒートアイランド現象を緩和するため、車室の一部を芝生化するとともに、駐車場の空き空間を緑化し、まちのみどりの創出に努めています。また、『「京（みやこ）のみどりの駐車場」パートナー』として、京都市と屋外駐車場の緑化を進めるための協定を締結しています。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

岡崎公園駐車場では、市民の文化芸術の表現の場として、「岡崎オープンギャラリー」と銘打ち、無料で市民の作品（絵画等）を展示しています。ほか、地域団体の夜間パトロールや清掃活動に参加、京都まち美化大作戦への参加、「こども110番のいえ」、祇園祭・地藏盆・地域夏まつりへの協賛を行っています。

※記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00015

更新日 2024年6月30日

一般財団法人
京都市都市整備公社



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の1つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

